

高等工科学校学生が事務所訪問



楽しそうに語る佐久川学生（右）

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 佐藤3陸佐）に8月5日（水）、佐久川テック学生（平成30年度に川崎出張所から高等工科学校へ入校）が夏季休暇を利用し、訪れた。佐久川学生は現在高等工科学校の2学年で、学校での様子や部活動について楽しそうに語った。

今回はコロナウイルス感染拡大の影響で佐久川学生の母校訪問は実施できなかったが、川崎出張所では「今後も学生と連携していきたい」としている。

高等工科学校生徒たちの里帰り



梅津生徒と部活動の後輩

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林1陸尉）は、高等工科学校生徒の夏季休暇に伴う母校訪問を支援した。

横浜市立東鴨居中学校には工藤生徒（2学年）、横浜市立市場中学校には齊藤生徒（2学年）、横浜市立錦台中学校には梅津生徒（1学年）がそれぞれ訪問した。

それぞれの学校では、担任や部活の顧問、進路指導の教員と懇談し「体つきが見違えるように逞しくなった」「制服がとても似合っていて恰好が良い」などの声が聞かれた。

母校訪問終了後「高等工科学校の魅力を多くの人に伝えたい」と横浜出張所において高工校生徒募集チラシの折り込み作業の手伝いを申し出てくれた生徒もいた。

また学校や家庭で相談できないことや、自衛隊に関する悩みを広報官に相談していた。横浜出張所は「今後も積極的に母校訪問を支援し、自衛隊の未来を担う高等工科学校生徒と地域や家庭との架け橋となるよう本制度を活用していきたい」としている。



工藤生徒と部活動顧問、担任教諭



齊藤生徒と担任教諭



募集業務を手伝う齊藤生徒